

《第49回海岸工学講演会》

2002年10月23日[水] - 25日[金]

海岸工学講演会は、神戸市でその第1回(195年)を開催して以来、今回で49回を数え、論文発表数、参加者数も年々増加し隆盛を究めております。

今回の発表数は、306編となり下記により北海道釧路市で開催することになりました。

つきましては、斯界の研究者、技術者の皆様方、また、今後の斯界を担う院生、学生の方々多数の参加をお願いします。

海岸工学委員会のホームページでもご覧になれます。

(<http://www.cvg.ynu.ac.jp/cec/index.htm>)

記

- 主催：(社)土木学会(担当：海岸工学委員会)
- 後援：国土交通省北海道開発局、釧路市、厚岸町(独)北海道開発土木研究所(独)水産総合研究センター(社)寒地港湾技術研究センター(財)港湾空港建設技術サービスセンター北海道支部
- 期日：2002年10月23日(水)～25日(金)
- 会場：釧路市観光国際交流センター
(釧路市幸町3丁目3番地、TEL：0154-31-1993)
第1会場：大ホールA
第2会場：大ホールB
第3会場：大ホールC+D
第4会場：視聴覚室
第5会場：研修室
【会場までの道のり】
JR釧路駅より徒歩10分
釧路空港からバス60分(フィッシャーマンズワーフMOO下車)
- 参加方法：参加無料・参加自由(当日会場へ直接ご来場下さい)
- 論文集：当日会場にて会員特価で販売いたします。
(B5版 約1,600頁)
価格、購入に関しては、9月下旬以降に下記へお問合せ下さい。
(書籍販売係 TEL：03-3355-3445)
- 発表時間：1題あたり発表時間12分、討議時間8分です。
- 発表用機器：OHP、パソコン(Power Point)+PCプロジェクター(講演者はCD+POMのみ持参可)、スライドは使用不可
- 旅行代理店：(株)ジェティービー(航空機・宿泊の予約)詳細はホームページをご覧ください。

【懇親会】

- 日時：10月24日(木)18:00～20:00
- 場所：釧路全日空ホテル「万葉の間」
- 参加者：7000円
- 申込方法：10月23日(水)11:00～総合受付にてお申込み下さい。

【見学会】

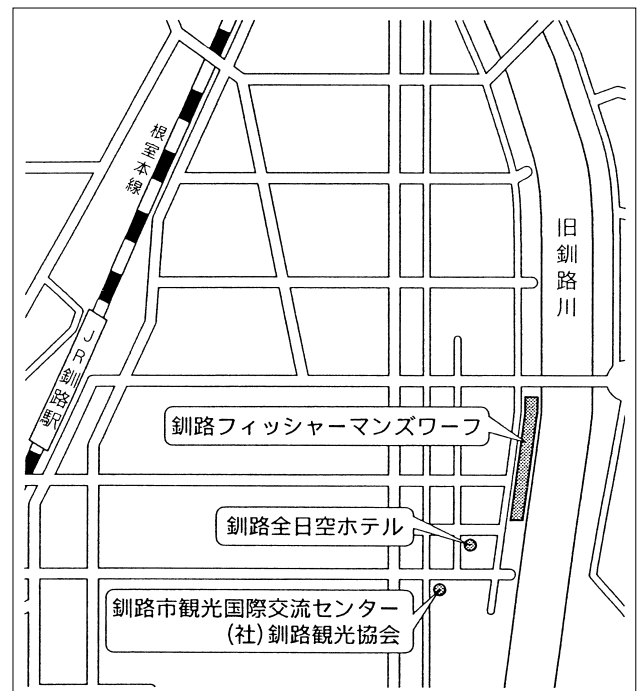
*いずれのコースも釧路市観光国際交流センター(講演会会場)前集合・発

【A-1コース】釧路港・蛇行河川湿原見学

- 日時：10月24日(木)9:00～
定員：60名程度
所要時間：約3時間10分
見学内容：釧路港第4埠頭・重力式岸壁地震時挙動観測・河川環境保全
案内：国土交通省北海道開発局釧路開発建設部釧路港湾建設事務所・(独)北海道開発土木研究所環境水工部港湾研究室
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部治水課

【A-2コース】釧路港・蛇行河川湿原見学

- 日時：10月24日(木)13:30～
定員：60名程度
*所要時間、見学内容、案内は、A-1コースと同じ



【Bコース】釧路港・北海道水産研究所・千代の浦漁港見学

- 日時：10月24日(木)9:00～
定員：55名程度
所要時間：約3時間15分
見学内容：釧路港第4埠頭・重力式岸壁地震時挙動観測・亜寒帯水域漁業研究・親水性漁港施設
案内：国土交通省北海道開発局釧路開発建設部釧路港湾建設事務所・(独)北海道開発土木研究所環境水工部港湾研究室・(独)水産総合研究センター北海道水産研究所・釧路市経済水産部水産課

【Cコース】北海道水産研究所・厚岸町カキ種苗センター見学

- 日時：10月24日(木)13:30～
定員：55名程度
所要時間：約3時間30分
見学内容：亜寒帯水域漁業研究・カキ養殖
案内：(独)水産総合研究センター北海道水産研究所・厚岸町水産課

*いずれのコースも参加費無料、10月23日(水)11:00～総合受付にてお申込み下さい(事前の受付は致しません)

	<p>9:10 ~ 9:25 9:30 ~ 10:50</p>	<p>11:00 ~ 12:40</p>
第1会場	<p>開会挨拶：河田恵昭委員長（京都大学） 司会：山下俊彦（北海道大学） CEJ Award授賞式</p> <p>司会：山下俊彦（北海道大学） (24) 大型造波水路を用いた渦度の岸沖変化に関する実験的研究 松野健児・森 信人・岡安章夫・池野正明・柴山知也 (25) 時間領域の擬似段波モデルに基づく碎波モデルの開発 平山克也・原 信彦 (26) ラグランジュ方程式による打ち上り帯流体運動の2次近似解 出口一郎・浅川敬之・澤田崇博 (27) 非線形緩勾配方程式による斜面上碎波の遡上高解析 富樫宏由・吉田 潤・平山康志</p>	<p>司会：後野正雄（大阪工業大学） (28) 複合断面地形の波の遡上に対するVOF法の適用性と不規則波モデルへの拡張 藤原隆一・山崎智弘・橋川正男・早瀬松一 (29) 座標系による海浜流モデルの高精度化～radiation stressの鉛直分布を駆動力として～ 信岡尚道・熊田沙織・三村信男 (30) 不規則波動下底面境界層の乱流構造に関する研究 鈴木 健・田中 仁・山路弘人・スントヨ (31) ストーム時の波群(包絡波)と長周期波の特性 堀江岳人・関 克己・水口 優 (32) 浅海域における多方向不規則波の碎波限界に関する研究 熊 亜希子・佐藤慎司・磯部雅彦</p>
第2会場	<p>司会：田中 仁（東北大学） (86) 前傾化した波と流れによるシートフロー漂砂量 高地 潤・佐藤慎司・渡辺 晃 (87) CT型濁度計による碎波帯内底質巻き上げに関する実験的研究 宇野喜之・岡安章夫・小林智尚・島谷 学 (88) レーザー濃度計・ADCPによるストーム時、碎波帯内での浮遊砂濃度・平均粒径計測と沖方向浮遊砂量の推算 加藤 茂・山下隆男・Abbas Yeganeh Bakhtiary (89) 現地碎波における底質巻き上げの間欠性と流体運動との関係 鈴木崇之・岡安章夫・Daniel T.Cox・片山裕之・森 信人・敦賀 仁</p>	<p>司会：松富英夫（秋田大学） (90) 乱流モデルによる非定常泥水流の流動解析 衛藤俊彦・福嶋祐介 (91) 碎波帯内乱流モデルの波打ち帯(Swash Zone)への拡張 柴山知也・Nguyen The Duy (92) 浸透・滲出を考慮した波打ち帯の流速場と漂砂に関する数値解析 Md.Azharul Hoque・浅野敏之 (93) 混合砂礫海岸における底質の分級と断面変形 吉田英治・荒木進歩・出口一郎・池田智大 (94) 粒径別浮遊・掃流漂砂モデルを用いた混合粒径砂大型岸沖海浜変形実験の再現 池野正明・清水隆夫・小林英次</p>
第3会場	<p>司会：角野昇八（大阪市立大学） (132) 越波時における護岸後背地構造物に作用する流体力に関する実験的研究 有川太郎・田中知行・黒田豊和・下迫健一郎 (133) ビストンモード波浪共振を利用する低反射・低透過構造の海水交換型防波堤の開発 中村孝幸・高木伸雄・中山哲蔵・河野 徹 (134) 平面波浪場における垂下版式反射波低減工の効果について 中村孝幸・高木伸雄・中山哲蔵・久保勝太・飯干富広 (135) 消波構造物に作用する波浪の消波機構を考慮した港内波浪変形計算 平山克也・上原 功</p>	<p>司会：吉田明德（九州大学） (136) ブシネスクモデルにおける目標反射率の設定法とその港内波高分布計算に対する適用性 平山克也・平石哲也 (137) 港湾域における浮防波堤の平面配置問題に対する近似解析法について 中村孝幸・水谷法美・許 東秀・金 度三 (138) 流体直接解析法による長周期波対策護岸の性能検討 平石哲也・永瀬恭一 (139) 多峯型方向スペクトル波が港内静穏度に及ぼす影響 高橋英紀・高山知司・永井紀彦 (140) 波と弾性はりとの連成運動に関する数値解析 榊山 勉</p>
第4会場	<p>司会：中山哲蔵（水産総合研究所） (194) 堆積物コア中の¹³⁷Cs濃度分布のモデル化に関する研究 志々目友博・渡辺正孝・土井妙子 (195) 沿岸海域環境の季節変動に伴う深層水放流時の拡散形態の変化 長谷部雅伸・大山 巧・平山彰彦・高月邦夫・池田知司 (196) 湾口における高密度水塊の貫入機構のモデル化と海水交換量の推定 日比野忠史・駒井克昭・鶴谷広一・岡田知也 (197) 東京湾における諸空港構想に伴う物理環境変化の予測 佐々木 淳・萩原崇之・磯部雅彦</p>	<p>司会：八木 宏（東京工業大学） (198) 沿岸域環境テレメトリーを用いたニューラルネットワークによる植物プランクトン群集密度変動のリアルタイム予測の試み 朴 容佑・山下隆男 (199) 内湾域に存在する海中懸濁粒子からの音響散乱 川西 澄・松山幸彦 (200) 沿岸域の水一堆積物界面近傍における酸素の動態に対する流速の影響の実験的解析 左山幹雄・相馬明郎・高杉由夫 (201) 流速が堆積物からの栄養塩溶出速度に及ぼす影響 井上徹教・中村由行 (202) 融雪期に鶴川から供給された物質の河口沿岸域環境への影響 山崎真一・渡邊康玄・宮下将典・森田真郷・山下俊彦</p>
第5会場	<p>司会：浅野敏之（鹿児島大学） (270) わが国沿岸での長期波浪推算資料に基づく波高の傾向変動の解析 畑田佳男・山口正隆・大福 学・野中浩一・李 敏杰 (271) 日本沿岸の潮位に見られる長周期変動と温暖化の影響 中野 晋・田所真路・宇野宏司・藤本雅彦 (272) 瀬戸内海忠海沖における海砂利採取の影響・底質移動特性 高橋 暁・村上和男 (273) 名取川における河口処理と地形変化 渡辺一也・田中 仁・槻山敏昭</p>	<p>司会：島田広昭（関西大学） (274) マングローブ水域と林内堆積物における微量温暖化ガス(N₂O)の挙動 今村正裕・立田 穰・杉岡俊一 (275) 貝類の生物機能と水域環境への影響に関する全国評価 中村義治・金網紀久恵・磯野良介・三村信男 (276) 相模湾沿岸海岸のアメニティーに関する研究 鈴木大助・岩瀬浩之・藤間功司・青野利夫・後藤智明 (277) 感性工学的手法を用いた海岸事業の便益推計に関する研究 熊谷健蔵・松原雄平 (278) 海岸原風景の回復を目指したエネルギー逸散型岸沖構造物の検討 柴山知也・森近裕一郎</p>

	13:30 ~ 15:10	15:20 ~ 17:20
第1会場	<p>司会：橋本典明(港湾空港技研)</p> <p>(33) 一般化パレート分布による極値波浪解析 - 拡張形状母数の推定 - 北野利一・間瀬 肇・喜岡 渉・ 矢野陽一郎</p> <p>(34) 極値波浪解析における記録更新値の統計的特性 北野利一</p> <p>(35) 設計波高に係る極値統計分布の裾長さパラメータとその意義 合田良実</p> <p>(36) 確率的台風モデルを利用した波高極値の推定システムの日本海における適用性 野中浩一・山口正隆・畑田佳男・大福 学</p> <p>(37) 伊勢湾地域における高解像度気象場の再現計算とその精度検証 大澤輝夫・深尾一仁・安田孝志</p>	<p>司会：高山知司(京都大学)</p> <p>(38) MM5による冬季季節風時の沿岸域海上風場の再現性について 山下隆男・加藤 茂・大澤輝夫・筆保弘徳・ 西口英利</p> <p>(39) 初期風波の発達特性に関する実験による再検討 温度成層の効果と摩擦速度の評価 加藤 始・信岡尚道・布目彰一</p> <p>(40) 有限水深域における非線形エネルギー輸送の高精度計算法のSWANへの導入 橋本典明・I.J.G.Haagsma・L.H.Holthuijsen</p> <p>(41) 局地気象モデルと第三世代波浪推算モデルの内湾波浪推算への適用 橋本典明・杉本 彰・川口浩二・宇都宮好博</p> <p>(42) 台風モデル風の埋込みによる51年波浪推算システムの改良 山口正隆・畑田佳男・野中浩一・大福 学</p> <p>(43) 波浪推算モデルと統計的手法による沿岸波浪予測 小林智尚・ 足立忠行・安田孝志</p>
第2会場	<p>司会：佐藤慎司(東京大学)</p> <p>(95) 3次元数値移動床によるシートフロー層の鉛直分級過程の数値解析 後藤仁志・原田英治・酒井哲郎</p> <p>(96) 混合粒径砂の分級過程を考慮した海浜変形モデルの開発 熊田貴之・ 小林昭男・宇多高明・芹沢真澄, 星上幸良・増田光一</p> <p>(97) 河口デルタの汀線・粒径変化の予測モデル - 沿岸漂砂による分級作用の再現 - 熊田貴之・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・増田光一</p> <p>(98) 砕波巻き上げによる浮遊砂の輸送・沈降過程に着目した地形変化の計算 片山裕之・合田良実</p> <p>(99) 多方向不規則波浪場における準3次元海浜流場と海浜変形予測に関する研究 黒岩正光・ 口石孝幸・加藤憲一・松原雄平・野田英明</p>	<p>司会：清水琢三(五洋建設)</p> <p>(100) 海浜縦断形の安定化機構を組み込んだ等深線変化モデル 芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・熊田貴之</p> <p>(101) 著しく大きな海岸線曲率を持つ海岸における地形変化予測手法の開発 渡辺宗介・芹沢真澄・宇多高明・小河正基</p> <p>(102) 海浜植生コウボウムギの生長および平面拡大解析 田中規夫・渡辺 肇・谷本勝利・小松原 肇</p> <p>(103) 北海道日本海沿岸の漂砂現象への長周期波の影響 三船修司・ 松本英明・金澤正志・荒井直人・山下俊彦</p> <p>(104) 野蒜海岸を中心とする石巻湾西部沿岸の長期土砂移動量の評価 井上かおり・田中 仁・泉 典洋</p> <p>(105) 秋田県南部海岸における代表波の決定法と海浜応答 富樫宏二・金光紀代太・松富英夫</p>
第3会場	<p>司会：水谷法美(名古屋大学)</p> <p>(141) 沖合い空港島による波浪・河川流への影響に関する模型実験 平石哲也・ 奥野光洋・宮里 一郎</p> <p>(142) 共存流による直立円柱底面付近の3次元流体場の変動特性 榎田真也・由比政年・石田 啓</p> <p>(143) 新型水車による流水エネルギー抽出装置の開発と現地設置 石田 啓・川崎秀明・渡部敏男・高地 健, 大貝秀司・榎田真也</p> <p>(144) 直立堤堤頭部近傍の局所流体力特性 加藤雅也・渡部靖憲・佐伯 浩</p> <p>(145) 湖岸や海岸に生育している水辺植生に作用する波力と消波機能の評価法に関する研究 林 建二郎・高橋 祐・重村利幸</p>	<p>司会：中村孝幸(愛媛大学)</p> <p>(146) 規則波・不規則波による傾斜堤の波力・越波伝達波への数値波動水路の適用性について 中野 修・興野俊也・安田勝則・藤井直樹</p> <p>(147) 津波段波の衝撃性および越流を考慮した設計外力算定フローの提案 水谷 将・今村文彦</p> <p>(148) 津波による超大型浮体の係留力について 堺 茂樹・ 牧野周作</p> <p>(149) パッシブ型装置を用いた作業船の減揺方法に関する研究 小林昭男・ 山口雄己・東江隆夫・伊藤一教</p> <p>(150) 被覆材の耐波安定性に関する不規則波実験における造波信号長の影響 大野賢一・松見吉晴・児玉広子・木村 晃</p> <p>(151) 消波ブロックの安定数に関する実験的・現地検証的研究 水流正人・関本恒浩・ 中山晋一・内海 博・斉藤知秀</p>
第4会場	<p>司会：松原雄平(鳥取大学)</p> <p>(203) 石狩川の物質輸送特性と河口沿岸域での水質の周年変動 山下俊彦・ 梅林 司・菅沼 剛・斎藤大作・山崎真一</p> <p>(204) 石狩川河川水中の懸濁粒子の海水混合による凝集過程に関する研究 山下俊彦・ 森田真郷・杉原幸樹・斎藤大作・山崎真一</p> <p>(205) 荒川河口域におけるChl-aの鉛直分布 岡田知也・中山恵介</p> <p>(206) 那珂川河口海域における物質分布構造の季節変化 八木 宏・大森義暢・足立久美子・二平 章・高橋正和</p> <p>(207) 二枚貝が優占する湖沼の水塊形成に関する数値解析 中村由行・奥宮英治・中山恵介</p>	<p>司会：池谷 毅(鹿島建設)</p> <p>(208) 猪鼻湖における貧酸素水塊の消長に及ぼす気象擾乱の影響 青木伸一・水野 亮・岡本光雄</p> <p>(209) 東京湾湾奥の浚渫地から湧昇する有機物の混合・拡散に関しての可視化解析 梅山元彦・ 新谷哲也</p> <p>(210) 東京湾奥部での底泥巻き上げとその粒度分布特性について 中川康之</p> <p>(211) 総合的内湾水質評価モデルの構築と東京湾への適用 岡田知也・中山恵介・ 宮野 仁・古川恵太</p> <p>(212) 2001年の有明海における水質の動態解明 鯉淵幸生・佐々木 淳・磯部雅彦</p> <p>(213) 有明海の潮汐変動特性と沿岸構造物の影響 滝川 清・田淵幹修</p>
第5会場	<p>司会：安田孝志(岐阜大学)</p> <p>(279) 面的防御方式の海岸保全施設による生活環境の向上について 関口浩二・ 水口 守・吉澤 裕</p> <p>(280) 秋冬季における砂浜海岸の利用実態調査 井上雅夫・橋中秀典・近藤雅彦・橋詰雅子</p> <p>(281) 干潟海岸に対する児童生徒の環境意識 森本剣太郎・入江 功・本原誠二・小野信幸・太田亜矢</p> <p>(282) 温度差エネルギーと水素吸蔵合金を利用した海水交換装置の開発 先川光弘・森 昌也・梅沢信敏・松村一弘・岡田昌樹, 遠藤 強・吉田静男</p> <p>(283) 環境社会システムにおける問題の構造分析と対策の評価に関する研究(サロマ湖を事例に) 古屋温美・関 いずみ・須崎 徹・長野 章</p>	<p>司会：今村文彦(東北大学)</p> <p>(284) 輸出コンテナ貨物流動に着目した最適港湾整備に関する研究 中西 豪・出口一郎・戸崎達朗</p> <p>(285) 台風時における港内係留船の係留限界予測に関する研究(第二報) - 予測モデルの精度向上および拡張 - 笹 健児・久保雅義・白石 悟・永井紀彦</p> <p>(286) 1955~1998年の60台風客観解析データを用いた高潮ハザードの算出 松田真盛・河田恵昭・永田 茂</p> <p>(287) うねりの発生特性と海域利用時の防災を目的としたうねりの簡易予測手法について 北野正夫・ 有光 剛・高山知司</p> <p>(288) 美しい海辺を守る災害復旧ガイドラインと海岸カルテ 宇多高明・白井勝二・香取孝志・関沢元治・大谷靖郎・辺見 聡</p> <p>(289) 津波の市街地氾濫による人的被害に関する一評価法 米国シアトルウォーターフロントにおけるケーススタディ 越村俊一・Harold O.Mofjeld・ 片田敏孝・河田恵昭</p>

	9:10 ~ 10:50	11:00 ~ 12:40
第1会場	<p>司会：永井紀彦（港湾空港技研）</p> <p>(44) 波浪推算値に基づく日本沿岸波浪の出現特性について 川口浩二・橋本典明・鈴山勝之</p> <p>(45) 気象・波浪相関図に基づく我が国沿岸波浪の出現特性解析 橋本典明・川口浩二・永井紀彦・柴木秀之・ 鈴山勝之</p> <p>(46) 波の散乱解析法を用いた島周辺の波浪スペクトル推定 吉田明德・ 一田 剛・山城 賢・宮本好英</p> <p>(47) 波浪条件の異なる2つの海岸での長周期波の増幅と港内副振動の特性比較 青木伸一・ 岡辺拓巳・出口一郎</p> <p>(48) 東日本沿岸域における長周期波の広域的な出現特性 石原弘一・岩淵哲治・ 仲井圭二・坂井紀之・瀬岡和夫</p>	<p>司会：後藤仁志（京都大学）</p> <p>(49) 台風の気圧分布の歪みと超傾度風を考慮した高潮推算 Albena Dimitrova Veltcheva・河合弘泰</p> <p>(50) 密度成層と内湾海上風を考慮した東京湾の高潮推算 藤本憲久・ 柴木秀之・仲井圭二</p> <p>(51) 東京湾における台風による高潮と高波の同時性と継続時間特性 河合弘泰・竹村慎治・原 信彦</p> <p>(52) 瀬戸内海西部海域における高潮・高波の極値の推定 山口正隆・畑田佳男・野中浩一・大福 学・ 小出健太郎</p> <p>(53) 海底横ずれ断層での津波ポテンシャルについて 韓 世燮・河田恵昭・岡本 真・松岡裕美</p>
第2会場	<p>司会：出口一郎（大阪大学）</p> <p>(106) 青森県高瀬川の河口部変動特性について 成田 舞・石川忠晴・高橋 淳</p> <p>(107) 鮫川河口砂州の変形と勿来海岸の地形変化過程に関する現地観測 阿部真人・福山貴子・佐藤慎司・磯部雅彦・熊谷隆宏</p> <p>(108) 新潟県北部海岸の漂砂動向に関する検討 黒木敬司・小島大典・近川喜代志・高野剛光</p> <p>(109) 九十九里浜野手海岸の変遷と海岸人工化要因の検討 宇多高明・清野聡子・ 吉田哲朗・酒井英次・三波俊郎</p> <p>(110) 航空写真による駿河湾沿岸の漂砂系解析 小椋 進・宇野健司・杉山直子・菊地純一・ 片野明良・服部昌太郎</p>	<p>司会：栗山善昭（港湾空港技研）</p> <p>(111) 駿河湾沿岸の土砂収支と漂砂特性 国枝重一・飯野光則・大石康正・佐々木元・ 桜庭雅明・ 倉田貴文</p> <p>(112) 深浅測量結果に基づく備前瀬戸航路の地形変化 伊福 誠・小林泰之・坂田健治・西本光宏・中田正人</p> <p>(113) 熊本県白川河口域における土砂動態 宇野誠高・横山勝英・森下和志・高島創太郎・大角武志</p> <p>(114) 有明海の底泥輸送現象に関する現地データの解析 中川康之・今林章二・ 末次広児</p> <p>(115) ARGUSビデオ解析による宮崎吉海岸の長期地形観測 鈴木高二朗・高橋重雄・山縣延文・堀田 治・栗山善昭・ Stefan Aarnkhof・Gerban Ruessink・Irv Elishoff</p>
第3会場	<p>司会：半沢 稔（テトラ）</p> <p>(152) 消波ブロックの耐波安定性及ばす被覆層厚と中詰め材の影響に関する研究 久保田真一・小林茂高・松本 朗・半沢 稔・松岡道夫</p> <p>(153) 個別要素法による消波ブロック被覆堤の変形計算 藤井直樹・興野俊也・安田勝則</p> <p>(154) フィルターユニットの形状決定理論と水理設計への応用 池谷 毅</p> <p>(155) 確率理論に基づく個別要素法の拡張 伊藤一教・樋口雄一・東江隆夫・勝井秀博</p> <p>(156) 波浪が護岸背面地盤へ及ぼす影響 鶴ヶ崎和博・馬場慎太郎・金 夏永・三宅達夫・金子晴美・ 手塚 隆・佐藤 清・徳永和幸</p>	<p>司会：下迫健一郎（港湾空港技研）</p> <p>(157) 防波堤アスファルトマットの集中荷重分散効果に関する実験的研究 宮田正史・長尾 毅・釣 哲之・清水庸介・田崎邦男</p> <p>(158) 地震時における重力式岸壁の滑動挙動に関する模型振動実験 小濱英司・菅野高弘・井合 進・窪内 篤・宮部秀一</p> <p>(159) 底質環境の改善を目的とした鉛直循環流誘起堤体の開発 重松孝昌・池田憲造・小田一紀・藤田 孝</p> <p>(160) ブロックの形状特性を考慮した被覆層破壊過程のシミュレーション 原田英治・後藤仁志・酒井哲郎・ 大野正博</p> <p>(161) 3次元モデルによる消波ブロック群の崩壊過程におけるブロック間応力推定 原田英治・後藤仁志・酒井哲郎・大野正博</p>
第4会場	<p>司会：瀬岡和夫（東京工業大学）</p> <p>(214) 有明海の中部海域における環境変動の要因分析 滝川 清・田中健路・外村隆臣・ 吉村祥子・古市正彦</p> <p>(215) 紀淡海峡における残差流と物質輸送の現地観測 中辻啓二・西田修三・ 金 漢九・山中亮一</p> <p>(216) 外洋から紀伊水道への窒素・リンの輸送 高志利宣・藤原建紀・住友寿明・竹内淳一</p> <p>(217) 瀬戸内海における栄養塩構成比の季節変動と赤潮発生の関係 陸田秀実・土井康明・稲山丈晴</p> <p>(218) 野見湾における夏期の流況と水質変動に関する現地観測 山本 潤・中山哲蔵・時吉 学・宮地健司</p>	<p>司会：中辻啓二（大阪大学）</p> <p>(219) 閉鎖度の高い小規模海域における成層期の海水交換機構 小橋乃子・安達貴浩・清水 崇・西ノ首英之・中村武弘・ 多田彰秀・矢野真一郎・藤田和夫・神山 泰・小松利光</p> <p>(220) 内湾域における残留化学物質の分布と生物濃縮に関する研究 宗景志浩・Le Xuan Tuan・夏川優樹・岩崎 望</p> <p>(221) 停滞性沿岸域での悪臭ガス発生に関する調査 堀田哲夫・天野光歩・山下芳浩・陳 飛勇・東海林 光</p> <p>(222) 干潟における一次生産の空間分布 児玉真史・水田健太郎・松永信博</p> <p>(223) 干潟生態系の構造把握を目的とした底生生物調査手法の現状と課題 上田薫利・上月康則・倉田健悟・村上仁士・ 白鳥 実・桂 義教</p>
第5会場	<p>司会：高橋重雄（港湾空港技研）</p> <p>(290) 物質循環スペクトルによる汽水湖生態系の健康度評価 中村義治・ 寺澤知彦・中村幹男・山下俊彦・青木伸一</p> <p>(291) 海岸防護・環境・利用の調整のためのゾーニング手法の限界と"ポインティング"手法の提案 清野聡子・宇多高明・ 星上幸良・芹沢真澄・古池 鋼</p> <p>(292) パーチャル大阪湾研究所に向けての沿岸域総合管理システムに関する研究 中辻啓二・沈 一揚</p> <p>(293) 2001年ペルー南部地震津波の災害調査 越村俊一・Emile Okal・Lori Dengler・Jose Borrero・Vasily Titov・ Modesto Ortiz・Sebastian Araya・Brandon Gomer・Matthew Swenson</p> <p>(294) 南太平洋地域における孤立島嶼の波浪外力に関する模型実験 平石哲也・平山克也・ 高田悦子・上原 功・ 吉野博之・原崎恵太郎</p>	<p>司会：柴山知也（横浜国立大学）</p> <p>(295) Semen Tuban港(インドネシア)のシルテーション対策の効果 Rahman Hidayat・入江 功・小野信幸・竹内伸夫・森本剣太郎</p> <p>(296) 塩水中における長江河口微細浮遊砂の凝集過程と凝集機構に関する研究 小田一紀・大石大輔・影地良昭・汪 思明</p> <p>(297) 方向スペクトルを考慮した近接観測点における波浪相関の検討事例 永井紀彦・上田裕章・福岡康宣・小山良明</p> <p>(298) 超音波流速計による浮遊土砂移動量の推定方法 横山勝英・宇野誠高・森下和志・河野史郎</p> <p>(299) 河口沿岸域でのADCPを用いた濁度推定と浮遊物質の移動量算出の試み 山下俊彦・ 奈良俊介・山崎真一</p>

	13:30 ~ 15:10	15:20 ~ 17:20
第1会場	<p>司会：真野 明（東北大学）</p> <p>(54) 波数分散効果を考慮した日本海中部地震津波の遡上計算 岩瀬浩之・藤間功司・見上敏文・柴木秀之・後藤智明</p> <p>(55) ソリトン分裂波の陸上遡上に関する数値計算 深澤雅人・岩瀬浩之・藤間功司・青野利夫・後藤智明</p> <p>(56) 合成等価粗度モデルを用いた津波氾濫シミュレーションの提案 油屋貴子・今村文彦</p> <p>(57) 津波に先行する海面変動とレイリー波の解析的研究 井上修作・大町達夫</p> <p>(58) 津波によって形成される深海底堆積物の構造とその水深による変化 キューバの白亜紀/第三紀境界深海性津波堆積物を例として 後藤和久・田近英一・多田隆治・松井孝典・高山英男、 M.A.Iturde-Vinent・中野陽一郎・山本信治・清川昌一・大路樹生</p>	<p>司会：喜岡 渉（名古屋工業大）</p> <p>(59) アジョイントモデルによる津波の波源域の逆推定法に関する研究 泉宮尊司・吉田慶太</p> <p>(60) 紀伊水道および豊後水道における津波の伝播・応答特性 吉田和郎・村上仁士・島田富美男・上月康則・倉田健悟・一島 洋</p> <p>(61) 南海地震津波による水産被害の評価手法の開発 河田恵昭・佐々木基充・高橋智幸・鈴木進吾</p> <p>(62) 津波に対する水門・陸間の有効活用とその効果に関する考察 杉本卓司・村上仁士・島田富美男・上月康則・倉田健悟・志方建仁</p> <p>(63) 地震による家屋の倒壊を考慮した津波来襲時における避難に関する一考察 佐藤広章・村上仁士・島田富美男・上月康則、 倉田健悟・大谷 寛</p> <p>(64) 天気図を用いた海上風の推算法について 犬飼直之・早川典生・福嶋祐介</p>
第2会場	<p>司会：池野正明（電力中央研究所）</p> <p>(116) 志布志海岸における長期海浜変形と河川からの流出土砂量の推定 浅野敏之・川添康秀・長谷川準三・藤岡正則</p> <p>(117) 志布志湾押切海岸の侵食とその対策 - 侵食ホット・スポット地形を伴う特異な海浜変形について - 宇多高明・西 隆一郎</p> <p>(118) 汀線近傍におけるストーム時大規模侵食の現地観測 島田玄太・関 克己・野原威一郎・小栗保二、 関本恒浩・水口 優</p> <p>(119) 強風・高波浪時の海浜流底面流速場および広域漂砂量の平面分布の推算式 馬場康之・山下隆男・Abbas Yeganeh・五歩一隆重</p> <p>(120) リーフ海岸における海面上昇起源の急激な海浜変形 - 宮古島西部に位置する前浜海岸の例 - 菊池昭男・宇多高明・西 隆一郎・三波俊郎、古池 綱・芹沢真澄</p>	<p>司会：鳥居謙一（国土交通省国総研）</p> <p>(121) 複素主成分分析を用いたSylt島海岸における地形変化特性の解析 横木裕宗・Larson Magnus</p> <p>(122) 数値地図情報を用いた流域から海岸に供給される土砂収支の地球規模での算定方法 柴山知也・Le Truc Tuan・磯畑 理</p> <p>(123) 粗砂投入による海浜変形に関する二次元実験 橋川正男・中村昭男・早瀬松一</p> <p>(124) 自然海浜安定化に関する帯状透水層の平面配置 藤間 聡・宮武 誠・山口俊哉・川森 晃</p> <p>(125) 歪み砂れんマットによる3次元の漂砂制御に関する実験 山口 洋・小野信幸・入江 功・申 承鎬・村瀬芳満</p> <p>(126) ピーチサイクルを考慮した養浜断面の安定化に関する研究 小野信幸・入江 功・緒方 菊・山口 洋</p>
第3会場	<p>司会：榊山 勉（電力中央研究所）</p> <p>(162) 波動場におけるブロック潜堤間隙内の三次元流体運動に関する実験的研究 重松孝昌・波部靖憲・竹原幸生・奥村悠樹・小池敏也</p> <p>(163) 人工リ・フ上の波頂前面砕波に伴う質量輸送流および乱れ特性 斎藤武久・村田康友・石田 啓</p> <p>(164) 消波ブロック積み幅広潜堤の変形および伝達波特性に関する検討 木村克俊・清水雄平・田谷年樹・山本泰司・土井善和・半沢 稔</p> <p>(165) 人工リーフの平面性能評価に関する研究 野口賢二・鳥居謙一・人見 寿</p> <p>(166) 混成堤式管理型護岸遮水シートに作用する波圧特性および波圧算定法に関する研究 藤井 敦・高橋重雄・小椋 進・宇野健司・杉山直子、 五月女 洋・伊野 同・鶴飼亮行・熊谷隆宏</p>	<p>司会：木村克俊（室蘭工業大学）</p> <p>(167) 湧昇流発生機能を有する着底式人工魚礁に関する研究 小野正順</p> <p>(168) 札前漁港における潜堤付海水交換工法の効果に関する現地観測 川口 毅・三島豊秋・岡野崇裕</p> <p>(169) 片貝漁港における水域利用と水質保全対策 川口 毅・三島豊秋・佐貫 宏・岡野崇裕</p> <p>(170) 波浪作用下における液状化の進展および凝固・圧密過程 宮本順司・佐々真志・関口秀雄</p> <p>(171) 波浪のような繰返し力を受ける構造物支持地盤の流動破壊と解析法に関する研究 横浜勝司・三浦清一・林 秀人</p> <p>(172) 海洋構造物を支持する砂地盤の側方流動破壊の推定法に関する基礎的研究 川村志麻・三浦清一・林 秀人・勝世佑子</p>
第4会場	<p>司会：五明美智男（東亜建設工業）</p> <p>(224) 干潟における水質の季節変化とその変動要因に関する研究 児玉真史・徳永貴久・松永信博</p> <p>(225) 有明海干潟底泥の水質浄化能力と物理的かく乱による能力強化に関する研究 原田浩幸・滝川 清</p> <p>(226) 成長モデルを用いた東京湾盤洲干潟での二枚貝による懸濁物除去量の推定 小沼 晋・五島勇樹・中村由行</p> <p>(227) 現地観測に基づく広島湾の干潟の底生生物量と活性量の時空間分布 陸田秀実・土井康明・中村健一・網谷貴彰・杉 芳典、 石川 博・沢田和秀</p> <p>(228) 大分県中津干潟における市民計画型干潟生物調査と海岸環境保全策の提案 清野聡子・足利由紀子・山下博由・土屋康文・花輪伸一</p>	<p>司会：中野 晋（徳島大学）</p> <p>(229) 関西国際空港周辺海域でのマクロベントス群集の分布と変遷について 浅山英章・伊藤利加・雑賀修一・飛石久弘・前田義志</p> <p>(230) 北部九州沿岸における自然、環境指標の特性に関する研究 小島治幸・上殿高広・岡野大樹・原 喜則・入江 功・山城 賢</p> <p>(231) アカウミガメの産卵行動に影響を及ぼす前浜地形と海浜流の特性 渡辺国広・清野聡子・宇多高明</p> <p>(232) カプトガニ産卵地となる河口砂州周辺の海浜流の特性と産卵行動の関係 清野聡子・宇多高明・芹沢真澄</p> <p>(233) 興津海岸におけるアマモ分布条件について 島谷 学・中瀬浩太・岩本裕之・中山哲巖・月館真理雄、 星野高士・内山雄介・灘岡和夫</p> <p>(234) アマモ場における酸素に着目した物質循環過程の定量化 伊豫田紀子・佐々木 淳・磯部雅彦</p>
第5会場	<p>司会：鈴木 靖（日本気象協会）</p> <p>(300) 工事海域の濁り監視と予測 稲垣 聡・山木克則・田中昌宏・中込國喜、 上田純広・松本壽人</p> <p>(301) 風波のマイクロ波ドップラー散乱特性に関する室内実験 小林智尚・山崎将史・加藤智也・安田孝志</p> <p>(302) 西岸境界流域海洋乱流場における中規模渦の振る舞いと海底地形 西村 司・二瓶泰雄・佐藤慶太</p> <p>(303) 短時間観測が可能なデジタルビームフォーミング方式による沿岸海洋レーダの開発 坂井伸一・平口博丸・松山昌史・坪野考樹・森 信人、 杉山陽一・藤井智史・佐藤健治・松岡建志</p> <p>(304) Xバンドレーダによる冬期日本海沿岸海洋観測 小林智尚・山崎将史・湯本大輔・渡辺章人・安田孝志</p>	<p>司会：山下隆男（京都大学）</p> <p>(306) 仮想荷重法と拡張ベイジ法を用いたCT型濁度計の濃度分布逆推定法 小林智尚・松下裕昭</p> <p>(307) 赤潮・貧酸素をリアルタイムに観測する野見湾漁場環境情報システム(nomi BAY WATCH SYSTEM)の開発 上野成三・永田良助・山崎英活・中山哲巖</p> <p>(308) 波・地盤・構造物の新しい実験手法 馬場慎太郎・三宅達夫・金 夏永・鶴ヶ崎和博</p> <p>(305) 衛星リモートセンシングによる砂浜海岸の高精度水深推定法とその適用性に関する研究 鈴木健太郎・泉宮尊司・石橋邦彦</p> <p>(1) 流体の密度を考慮した非線形波動方程式 柿沼太郎</p> <p>(2) 高次ブジネスク方程式の一般形の導出と最適係数を用いた高精度数値モデルの開発 中嶋光浩・由比政年・石田 啓</p>

	9:10 ~ 10:50	11:00 ~ 12:40
第1会場	<p>司会：堺 茂樹(岩手大学)</p> <p>(65) 碎波を伴う強風下の吹送流の流速の鉛直分布と全流量について 小笠原敏記・安田孝志・武田真典・大澤輝夫</p> <p>(66) 吹送流の乱流構造と碎波によって生成される乱流成分について 小笠原敏記・安田孝志</p> <p>(67) 気泡混入層厚に着目した風波の碎波指標 小笠原敏記・武田真典・安田孝志</p> <p>(68) 水質改善に向けた感潮支川・湖沼の塩分動態の解析・洞沼川・洞沼を対象として - 三村信男・信岡尚道・三田市圭史・布目彰一・横木裕宗・根本隆夫</p> <p>(69) 可撓性に着目した藻場キャノピー周辺の流動・乱流構造に関する実験的研究 田村 仁・瀬岡和夫</p>	<p>司会：泉宮尊司(新潟大学)</p> <p>(70) 河川感潮域における乱流と水質の鉛直構造の変動特性 川西 澄・本宮和照</p> <p>(71) 河川感潮域における懸濁物質の観測 伊福 誠・合田宏隆・中田正人</p> <p>(72) 強固な密度成層を有する水域における下層内の流動と水質変化 福岡捷二・三浦 心・黒川岳司・松下智美・船橋昇治</p> <p>(73) 北上川融雪出水の追波湾における挙動について 工藤健太郎・高坂香那・田中總太郎・石川忠晴</p> <p>(74) 小型漂流ブイ観測および幼生定着実験によるリーフ間広域サンゴ幼生供給過程の解明 瀬岡和夫・波利井佐紀・三井 順・田村 仁・花田 岳・Enrico Paringit・二瓶泰雄・藤井智史・佐藤健治・松岡建志・鹿熊信一郎・池間健晴・岩尾研二・高橋孝昭</p>
第2会場	<p>司会：高木利光(アイエヌエー)</p> <p>(127) 3次元Hsuモデルによるポケットビーチ内の護岸周辺の静的安定海浜形状の予測 酒井和也・小林昭男・熊田貴之・芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎</p> <p>(128) 植生領域の飛砂に関する実験的研究 有働恵子・武若 聡・西村仁嗣</p> <p>(129) 緩傾斜護岸の越波流量算定図とその越波低減効果に関する実験的研究 玉田 崇・井上雅夫・手塚崇雄</p> <p>(130) 直立消波ケーソン式護岸における越波飛沫の打ち上げ特性とその対策に関する研究 木村克俊・浜口正志・山本泰司・前田宗文・三船修司</p> <p>(131) 越波排水路の排水能力の評価法について 殿最浩司・井上雅夫・目見田 哲・玉田 崇</p>	<p>司会：三村信男(茨城大学)</p> <p>(254) 新長崎漁港における流況制御ブロック沈設に伴う水質動態について 多田彰秀・矢野真一郎・中村武弘・野中寛之・小橋乃子・西ノ首英之・藤田和夫・小松利光</p> <p>(255) 流況制御による環境修復技術の現地への適用性について 山崎宗広・村上和男・早川典生</p> <p>(256) 人工磯の新しい近自然化シナリオへの水理解析の貢献 後藤仁志・酒井哲郎・仁木将人・八木哲生</p> <p>(257) 大阪南港野鳥園湿地の環境特性と生物多様性を重視した浅場環境の造成条件 柳川竜一・矢持 進・中谷恵美・小田一紀</p> <p>(258) 大阪湾阪南2区人工干潟現地実験場の生物生態機能と水質浄化に関する研究 - 浚渫土砂を活用した人工干潟における地形変化と底生生物の出現特性 - 岡本庄市・矢持 進・大西 徹・田口敬祐・小田一紀</p>
第3会場	<p>司会：松見吉晴(鳥取大学)</p> <p>(173) 防波堤背後に設置した人工浅場の波浪による液状化について 鈴木高二朗・高橋重雄・山本泰司・橋詰知喜・姜 関求</p> <p>(174) 海底地盤の液状化による護岸前面捨石群の沈下過程 酒井哲郎・後藤仁志・原田英治・井元康文・田中秀範</p> <p>(175) 防波護岸背後からの土砂吸出しに関する基礎的研究 重村利幸・滝口和男・多田 毅・林建二郎・藤間功司</p> <p>(176) 変動水圧場における護岸目地からの裏込め土砂の流出と防止に関する研究 前野詩朗・Lechslaw G.Bierawski・藤田修司</p> <p>(177) 波・地盤・構造物の相互作用に関するU-形式VOF-FEM(CADMAS GEO-SURF)の開発 高橋重雄・鈴木高二朗・村西佳美・磯部雅彦</p>	<p>司会：石田 啓(金沢大学)</p> <p>(178) 寒冷海域における摩擦増大用アスファルトマットの耐久性について 井元忠博・梅沢信敏・宮部秀一・土井善和・原田雅敏・間山正一</p> <p>(179) 水平管内スラグ流における容積流束とスラグ流速について 小川 元・落合 実・遠藤茂勝</p> <p>(180) 鉛直管に投入された土砂の水中落下挙動と管内水振動 五明美智男・栗原明夫・三村信男</p> <p>(181) 水中落下土砂の底泥地盤へのめり込み・貫入の定式化 五明美智男・三村信男</p> <p>(182) 周期分布関数を用いた限界状態設計法の算定法 大田 勲・神藤明彦・櫻井日出伸・山谷弘幸・大下英治・滑川伸孝</p>
第4会場	<p>司会：勝井秀博(大成建設)</p> <p>(235) エゾアワビの個体群動態モデルの開発 明田定満・桑原久実・中村義治・奥出 壮・寺澤知彦</p> <p>(236) 沖縄・慶良間列島におけるサンゴ産卵とスリック動態に関する観測 瀬岡和夫・波利井佐紀・池間健晴・Enrico Paringit・三井 順・田村 仁・岩尾研二・鹿熊信一郎</p> <p>(237) 現地観測に基づくバラオ諸島ラグーン海域における海水循環構造の解明 瀬岡和夫・三井 順・渡邊 敦・秦 浩司</p> <p>(238) 人工構造物におけるサンゴ群集成長過程の解析 山本秀一・高橋由浩・住田公資・林 輝幸・杉浦則夫・前川孝昭</p> <p>(239) 多バンド・リモートセンシングに基づくサンゴ礁マッピングへの逆解析手法の応用 Enrico Paringit・瀬岡和夫</p>	<p>司会：古川恵太(国土交通省国総研)</p> <p>(240) マングローブ河道部周辺における三次元流動構造と乱流特性に関する現地観測 二瓶泰雄・横井淳一・青木康哲・網島康雄・佐藤慶太・瀬岡和夫</p> <p>(241) 多点連続観測に基づくマングローブ・エスチュアリーにおける流れと物質輸送特性 二瓶泰雄・青木康哲・網島康雄・佐藤慶太・西村 司・瀬岡和夫</p> <p>(242) 現地観測に基づくマングローブ域の水質・放射環境に関する研究 二瓶泰雄・網島康雄・佐藤正也・青木康哲・佐藤慶太・瀬岡和夫</p> <p>(243) アサリ増殖場造成地における水質浄化機能の定量的評価 阿保勝之・坂見知子・高柳和史</p> <p>(244) 黒潮流路変動に伴う沿岸域への栄養塩流入現象 八木 宏・足立久美子・二平 章・高橋正和</p>
第5会場	<p>司会：伊福 誠(愛媛大学)</p> <p>(3) 無反射式多方向造波装置の開発と性能評価 長山智則・佐藤慎司・磯部雅彦・都築臨太郎</p> <p>(4) 水路合流部における孤立波の衝突に関する実験および数値解析 由比政年・小橋公夫・間瀬 肇・石田 啓</p> <p>(5) 波・流れ共存場の平均流速分布に関する研究 小林英樹・田中博通</p> <p>(6) 非線形緩勾配方程式を用いた屈折・回折・碎波変形モデルの開発 有川太郎・岡安章夫</p> <p>(7) SPS乱流モデル付き拡張MPS法による碎波過程の数値解析 後藤仁志・林 稔・織田晃治・酒井哲郎</p>	<p>司会：濱中健一郎(北海道東海大学)</p> <p>(8) 陰的SMAC法に基づく自由水面流れの高次精度・高速解法 牛島 省・福津家久</p> <p>(9) 小水深人工リーフ天端上を通過する波の変形・数値計算モデルの検証 - 沖 和哉・村上啓介・間瀬 肇</p> <p>(10) 遡上津波の戻り流れによる護岸法先洗掘のグリッドレス解析 後藤仁志・酒井哲郎・林 稔・織田晃治・五十里洋行</p> <p>(11) 港内の波と流れの非線形相互作用の数値解析に関する研究 水谷法美・許 東秀・前田祐介</p> <p>(12) 3次元固気液多相流数値モデルの構築とその検証 川崎浩司・中辻啓二</p>

	13:30 ~ 15:10	15:20 ~ 17:20
第1会場	<p>司会：平石哲也（港湾空港技研）</p> <p>(75) 尻別川河口部におけるwave set-up高さの定量的評価に関する研究 田中 仁・李 炫錫・古路一哉</p> <p>(76) 沿岸海洋モデルによる来島海峡の潮位分布と潮流の3次元構造の解明 陸田秀実・土井康明・市位嘉崇</p> <p>(77) 瀬戸内海における水位の季節変動量の推定 駒井克昭・日比野忠史・清水勝義</p> <p>(78) 伊勢湾における密度・流動構造の季節変化 寛 茂穂・藤原建紀・山田浩且</p> <p>(79) 広島湾北部海域における残差流の鉛直構造の季節変動 川西 澄・木村隆浩</p>	<p>司会：武若 聡（筑波大学）</p> <p>(80) 諫早湾湾口部における流況の現地観測 中村武弘・矢野真一郎・夢田彰秀・野中寛之・亀井雄一</p> <p>(81) 有明海における潮汐振幅減少要因の解明と諫早堤防締め切り影響 瀬岡和夫・花田 岳</p> <p>(82) 有明海の潮汐及び三次元流動シミュレーション 田中昌宏・稲垣 聡・山木克則</p> <p>(83) 浅水流場を対象とした三次元数値モデルの近似手法に関する検討 - 座標系と静水圧近似に着目して - 二瓶泰雄・山崎裕介・西村 司・瀬岡和夫</p> <p>(84) ネスティング計算法を用いた吹通川マングロープ水域における高解像度流動シミュレーション 二瓶泰雄・佐藤慶太・青木康哲・西村 司・瀬岡和夫</p> <p>(85) 新しいtwo-wayネスティング手法の開発 二瓶泰雄・町田佳隆・佐藤慶太・西村 司・瀬岡和夫</p>
第2会場	<p>司会：清野聡子（東京大学）</p> <p>(259) 高密度都市域における潟湖化干潟の生態学的特性 石井裕一・村上和仁・瀧 和夫・立本英機</p> <p>(260) 干潟実験生態系における底生動物群集の6年間にわたる動態と環境変化に対する応答 桑江朝比呂・三好英一・小沼 晋・中村由行・細川恭史</p> <p>(261) 浚渫土を用いた干潟再生実験における浚渫土混合率と底生生物の関係について 上野成三・高橋正昭・高山百合子・国分秀樹・原条誠也</p> <p>(262) 人工干潟における水質浄化機能に関する解析 木村賢史・市村 康・坂巻隆史・西村 修・稲森悠平・木幡邦男・須藤隆一</p> <p>(263) 揖斐川河口左岸の白鷺地区におけるなぎさ造り現地実験 篠田 孝・宇多高明・鈴木信広・大塚康司・松山康忠・日下部千津子・加藤憲一・平山禎之</p>	<p>司会：細川恭史（国土交通省国総研）</p> <p>(264) 波高減衰および地形変化抑制効果を期待した人工海草設置法に関する研究 金澤 剛・芳田利春・川崎和俊</p> <p>(265) 人工磯浜における出現動物の現地観測とその移動特性 仁木将人・酒井哲郎・中原紘之</p> <p>(266) 肌肌をもつ人工タイドプールの生物相の変化 綿貫 啓・廣瀬紀一・半沢 稔・坂本通昭・丸井隆一</p> <p>(267) 自然調和型防波堤の藻場分布と水環境との関係について 安藤 亘・村岡芳郎・石田和敬・小島洋一</p> <p>(268) 人工産卵基質による沿岸構造物への魚類産卵場機能の付加 森 信幸・坪田幸雄・福田光男・丸山修治・岸 哲也・三宮芳明</p> <p>(269) 氷盤下における流出油の拡散・氷盤下面の凹凸の影響 泉山 耕・金野祥久・松本健司・堺 茂樹</p>
第3会場	<p>司会：青木伸一（豊橋技術科学大学）</p> <p>(183) 伊勢湾西南海岸における堤防老朽度評価 藤田光一・中村瑛佳・山本 剛・田中浩充・鳥居謙一・野口謙二</p> <p>(184) 災害に強い港湾構造物の考察 山縣延文・西原孝美・中山正勝・上原幸生・富安良一・半沢 稔</p> <p>(185) 人工リーフと緩傾斜堤に関する平成13年全国実態調査 野口賢二・鳥居謙一・人見 寿・笛田俊治・丸山 準・岸田弘之・山崎真嗣</p> <p>(186) 確率的台風モデルを用いた信頼性設計法 花山格章・関本恒浩・鶴岡亮行・高木泰士・畑田佳男・山口正隆</p> <p>(187) 沿岸防災施設の性能設計の基本的な考え方 高橋重雄・富田孝史・河合弘泰</p>	<p>司会：窪内 篤（北海道開発土木研究所）</p> <p>(188) ヘッドランド工法の設計手引き(案)の検討とその適用 横山嘉夫・田辺勇人・中西勝利・加藤史訓・山本吉道・有村盾一</p> <p>(189) 海域環境に配慮した背後マウンド付き防波堤の設計法に関する研究 森 昌也・上久保勝美・梅沢信敏・山本泰司・高橋知善・伊東雅規</p> <p>(190) 安全係数を用いた防波堤滑動量算定手法の構築に関する検討 赤石沢総光・長船 徹・興野俊也・阿部光信</p> <p>(191) 漁港における就労環境の評価・分析手法の構築 佐伯公康・穴井美緒・朴 賢哲・明田定満・高木伸雄・近藤健雄</p> <p>(192) 海岸保全施設の設計への感性工学手法の適用に関する研究 松原雄平・大櫃 剛・安達 誠・南本浩一</p> <p>(193) 河川流量の変動にともなう伊勢湾のエスチュアリー循環流量・栄養塩輸送量の変化 山尾 理・笠井亮秀・藤原建紀・杉山陽一・原田一利</p>
第4会場	<p>司会：滝川 清（熊本大学）</p> <p>(245) 底質・流速からみた沿岸構造物周辺の底生生物の経年変化 福田光男・坪田幸雄・森 信幸・丸山修治・吉田 徹・久野能孝・山下俊彦</p> <p>(246) 青森海岸の海岸保全施設における付着生物の分布特性 井上公人・田中 仁</p> <p>(247) 酸素・窒素・炭素動態の鉛直微細構造を表現する沿岸堆積物表層物質循環モデルの開発 相馬明郎・左山幹雄</p> <p>(248) 物理外力を考慮した生態系モデルによる干潟生態系の評価 杉田繁樹・中瀬浩太・古川恵太・重松孝昌・青木伸一</p> <p>(249) 人工磯浜における水質変化の生態系モデルによる評価 仁木将人・酒井哲郎・中原紘之</p>	<p>司会：大山 巧（清水建設）</p> <p>(250) 個体群動態モデルを用いたウニ漁場評価手法の開発 桑原久実・明田定満・酒向章哲</p> <p>(251) 干潟を含む沿岸域における海陸風に関する数値実験 田中健路・滝川 清・川内 聡</p> <p>(252) 波動場数値計算の砕波判定によって発生する飛来塩分とその輸送に関する数値実験 細山田得三・山田文則・田安正茂</p> <p>(253) 港内結氷シミュレーションモデルの構築と現地適用性の検証 本間大輔・梅沢信敏・山本泰司・木岡信治・川口 勉</p>
第5会場	<p>司会：岡安章夫（東京水産大学）</p> <p>(13) PIV計測による白波砕波上の気流の剥離特性 水谷夏樹・佐藤裕司・橋本典明</p> <p>(14) 風波発生時における水面近傍の気流・水流のPTV同時計測 竹原幸生・真木正弘・辻本剛三・江藤剛治・高野保英</p> <p>(15) 風波上の気流の変動特性とエネルギー輸送に関する研究 山下裕之・泉宮尊司・石橋邦彦</p> <p>(16) 波動乱流境界層の三次元化と乱流拡散に関する研究 渡部靖憲・松本 卓・佐伯 浩</p> <p>(17) 浅海波浪推算モデルSWANの風洞水槽実験による比較検証 水谷夏樹・Sang Ho Oh・佐藤裕司・Kyung Doug Suh・橋本典明</p>	<p>司会：小林智尚（岐阜大学）</p> <p>(18) 風波パラメータを用いたガス交換係数の実験式 津守博通・古寺大悟・杉原裕司</p> <p>(19) 水表面乱流の微細構造に着目したガス交換機構の研究 津守博通・杉原裕司</p> <p>(20) 2色LIF-PIVを用いた水表面におけるガス交換過程の計測 森 信人・今村正裕</p> <p>(21) 潜堤上の砕波に伴う気泡混入過程と気泡径に関する実験的研究 鷲見浩一・岩田好一郎</p> <p>(22) 砕波遷移に伴う気泡生成特性変化とマイクロバブル量に関する研究 渡部靖憲・山内悠司・佐伯 浩</p> <p>(23) 気泡の生成・運行に伴う水中圧力の時間周波数解析と距離減衰特性 川崎浩司・山澤洋一・岩田好一郎</p>